

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 岩下 啓史 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 高齢者向け支援制度の充実を	○超高齢社会のなか、医療や介護業界の逼迫が深刻化しています。 ○高齢者の健康寿命を伸ばすための政策として予防的な医療と支援が重要です。 （1）高齢者の補聴器購入の助成制度は必要ではないか ○65歳以上から中等度の難聴者は2人に1人程度で、70歳半ばから3人に2人程度と言われています。 ○会話や他者とのつながりが減り、引きこもりがちになります。認知症やうつ病の発症にもつながる恐れがあります。 ○大津町では、18歳未満と障害者手帳を持つ高度の難聴者への助成制度があるかと思いますので、制度の概要と実績をそれぞれ教えてください。 ○補聴器助成を求める声は全国的にここ数年で大幅に増え、2023年から倍近くに増えています。 ○中等度の補聴器は片耳で平均15万円と高額です。本町でも少なくとも2-3000名ほどの加齢性難聴者がいると推測できます。 ○高齢者の補聴器購入の助成制度について、町長の見解を問います。 （2）高齢者向けエアコンの購入助成制度も必要ではないか ○近年、熱中症による救急搬送人員が増加しています。 ○令和6年度の内訳は、高齢者（65歳以上）が最も多く半分以上を占めています。 ○発生場所は、住居が最も多く全体の38%を占めています。 ○搬送された高齢者は、経済的な困窮からエアコンの使用を控えるかそもそもエアコンを設置していないケースがほとんどです。 ○高齢者は加齢とともに身体機能が低下しますが、体温調節機能や温度感覚も低下し、気づかないうちに熱中症を発症してしまいます。 ○近年の異常なまでの猛暑はもはや災害といっても過言ではありません。 ○エアコンは贅沢品ではなく、命を守るための生活にとっての必需品であります。	町 長

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 岩下 啓史 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2 佐賀駐屯地への陸自オスプレイ配備への町側の危機意識と管理について	○高齢者の健康寿命を伸ばすためにも、救急搬送にかかる医療費の増加を抑えるためにも、高齢者向けエアコンの購入助成制度が必要です。 ○町長の見解を問います。 ○8月12日に陸上自衛隊オスプレイの佐賀駐屯地への配備が完了されました。 ○一昨年も昨年もオスプレイは重大事故を繰り返しています。 ○現在、アメリカでは安全性の評価段階であり、まだ全面的な利用は許可されていません。 ○このような状況にある中、九州全域でオスプレイの低空飛行訓練が行われる計画です。 ○もし、町内でオスプレイの事故があったら大変なことになります。 ○町として、国に飛行計画の中止を求めるべきではありませんか。 ○町長の見解を問います。	町 長